



河野としのり

レポート

熊谷俊人

千葉県知事

河野としのり

県議



2024

新春対談

美浜区への想い

河野としのり県議

千葉県長時代には何度か対談をさせていただきましたが、今回は千葉県知事になられて初めての対談です。貴重な時間を割いて下さり誠に有り難うございます。

知事選挙は令和3年3月にあり、もう2年10ヶ月が経っていますが、私達の美浜区は、熊谷俊人知事への投票率が83・4%と千葉県の55を超える選挙区の中で1番でした。それだけ熊谷

俊人知事誕生への熱い想いがありました。勿論今も変わっていません。美浜区の皆様は、熊谷市長時代、市の財政も健全にし、待機児童を職員総動員され解消してくださったり、打瀬ベイクンのゴミ空気輸送システムの維持と修繕をして頂いたり、検見川・真砂スマートインターチェンジ(仮称)のアクセス道路の事業化をして頂いたり、千葉県長時代から熊谷俊人知事は様々な質的にやってくださったと思う事は地域にはあります。やはり美浜区の皆様は知事

みたいに真面目に一生懸命な方をまず第一に良しとされます。新しい土地に全国から集まった方々ですから、代々の家族・親戚とか、利害関係とか、仕事上の繋がりがとか、そういった関係ではなく、まるで海岸の砂浜の砂のように、サラサラとした、しがらみのない皆様の集まりです。何も持たなくても一途な公の精神だけを判断とされます。

熊谷俊人知事
そうですね、美浜区は特にそうですね。

河野としのり県議
よって知事みたいな政策本位といいますが、真面目でそれ一本鎗の方を良しとされる土地柄だと思えます。

熊谷俊人知事
美浜区の方々はいつも千葉市の中でも各種選挙の投票率が高い。政治やコミュニケーションに対しての意識が高い方が多いですね。そういう方々に高い評価をしていただ



けるという事は、非常に誇らしいし有り難いと思います。

河野としのり県議

その意味で、知事から美浜区の皆様に何かひとことあればお願い致します。

熊谷俊人知事

先ほど河野さんが仰ったように、美浜区に関しては、東日本の大震災の液状化の時から関わった案件は無数にありますので、今でも公務でも勿論プライベートでも美浜区に関わらせて頂いています。いつまでも自分にとって、非常に、思い出深い場所であり、これからも県で出来る事は、間違いなくしっかりと行っていきます。



拠点都市から県全体の繁栄へと

河野としのり県議
有り難うございます。市長時代からスマートインターチェンジとか、海浜幕張駅の住居エリアのほうに拡張とか、あるいは新駅の幕張豊砂駅とか手掛けて下さり、

お陰で、確かに地域は活性化していると思います。その意味では、市長をやっておられ、拠点都市をしっかりと方向づけられて、そこが栄えれば多くの地域を引き連れて、県全体が栄えていく

県が何をすべきか、現場感がわかった上で県の政策を判断出来ているので、結果的に非常に良いキャリアを歩ませていると思っています。



熊谷俊人知事

そうですね、都市経営をさせて頂いたので、そこから

地球温暖化異常気象となった今、巨大台風と線状降水帯の大雨に対処する

河野としのり県議
今回の台風13号では知事は千葉市長時代の時と同じように直ぐに被災地に足を運び、被害の状況把握をなされ対応された。今回の災害も住宅被害も大きく浸水被害は2千箇所超えました。このような線状降水帯による短時間集中豪雨による想定外の災害は、地球温暖化異常気象となった今どこで起きてもお不思議ではないですが、今回の災害に対して何を課題として、毎年狂暴になる台風の災害対策はどの

ように準備し、今後予算も含め整理されようとしているのでしょうか。

熊谷俊人知事

本県に線状降水帯が発生し、これまでにない記録的な大雨で浸水被害や土砂崩れが起き、災害対策の向上に不断に取り組む必要性を再認識しました。地球温暖化による治水計画の見直しも、最新の知見と可能な予算を踏まえ目標規模をしっかり設定して行かないと行けません。また地球温暖化が

加速する時代、堤防により洪水を漏らさないというより、水を溢れさせ場所や貯留・浸透機能を作ることによって全体で水を受け止め被害を減らしていく視点が重要です。集落を囲む輪中提や高床式の住宅、浸水地域からの移転促進など、「流域治水」を進めていく必要があります。



新型コロナウイルスの発生や激甚化する災害に準備する

河野としのり県議
千葉市長時代にコロナ感染症発生時の対策についてインタビューをさせて頂きました。その時、「既に先回りをしてあらかじめ最悪のシナリオを考えて、例えば、感染発生源になる店の休業要請した場合の協力金とかは幾らか予算にするか等の検討は後手に回らないように事前に整理している」とお聞きして、「ああ市長は、災害とか感染対策は起こる以前に常に見据えておられる」と驚きました。また今回の台風第13号の大雨の被害の対応は迅速に県が動いたと議会も評

価しています。県知事となられて、今度は多様な市町村を含めた県全体の災害対策、又感染対策における医療供給体制、保健所の機能強化をどのように考えておられるのでしょうか。

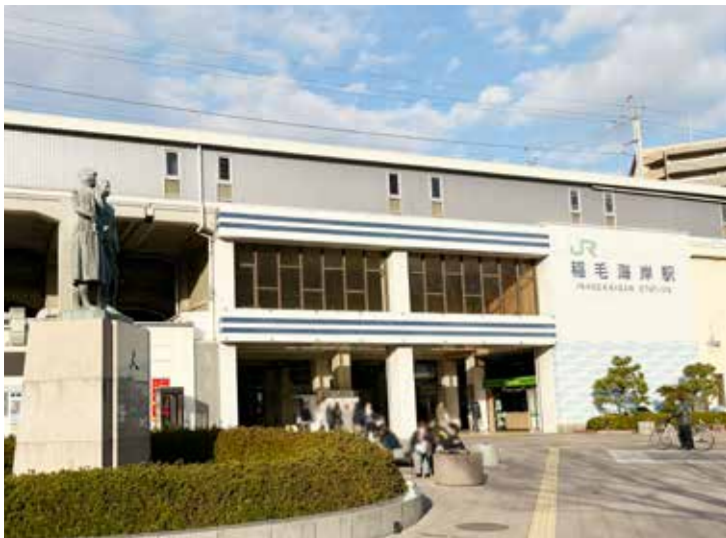
熊谷俊人知事

災害が激甚化していますから初動における情報収集は最も重要です。直ちに情報連絡員を派遣し、なおかつドローンなども活用して被害状況の迅速な把握に努めています。災害廃棄物処理や住家被害調査は県や他の市町村の応援が必要となる

場合に当然ありますから、応援する側、それを受ける側の手順を記した「応援受援計画」の策定を進めています。また迅速な災害対策は各種機関との連携が大事です。平時時から、帰宅困難者の支援、インフラの復旧や物資の供給などについて民間企業との災害時応援協定を進め、更に災害発生

時に自衛隊や消防、警察の拠点となる広域防災拠点の指定を明確にしたり、連携強化を図っています。また新型コロナウイルスの感染拡大による患者の急増で発熱外来や確保病床が不足する事態が起きました。不安を抱える診療所に感染管理研修や様々な相談など技術支援を行いました。また医療機関へ協力の依頼を重ねて行い、重点的に入

院医療を行う医療機関を確保するなど病床の確保に努めました。将来の感染症の発生に備えて、入所病床や発熱外来の確保に関し、予め医療機関と協定を提携する準備を進めています。患者への疫学調査や入院調整等を行う保健所も逼迫しましたので、職員応援や人材派遣により保健所の人員体制を強化することは



場合も当然ありますから、応援する側、それを受ける側の手順を記した「応援受援計画」の策定を進めています。また迅速な災害対策は各種機関との連携が大事です。平時時から、帰宅困難者の支援、インフラの復旧や物資の供給などについて民間企業との災害時応援協定を進め、更に災害発生



県民に寄り添った県政に

河野としのり県議

知事は市長時代、積極的に市民との対話を重ね、情報発信もこまめに行われ、現場の実態を把握しようとした。また目標をきちんとSNS等で発信し、説明も

粘り強くなされた。そういった姿に市民に寄り添った行政の長であり、共に歩んでいきたいというイメージを市民は持ったと思います。県においては、ともすれば国への通過体で県自体掴み



処がない、何か分からない部分が多いと見られますが、それに対し県民や市町村とよりの壁のない開かれた県政を進めるためどのようなことを考えておられるのでしょうか。

熊谷俊人知事

県政運営に当たっては様々な意見に耳を傾け、政策に反映させていくことが重要と心掛けています。広聴制度である「わたしの提言」

(※1参照)により直接県民の皆様から意見をお聴きするほか、教育や医療などの施設を訪問し、現場の方々の生の声を聞いています。また、知事就任以降、県内すべての市町村を直接訪問し、地域の実情・課題について、市町村長と率直に意見交換を行いました。市町村との連携を強化し、地域振興や災害対応力の向上のために地域振興事務所の体制を強化しています。今後こうした取り組みを通じて、県民ニーズや地域の課題を確りと把握し、将来を見据えた県政運営を行ってまいります。

高齢者の安心安全に向けて

河野としのり県議

高齢者の安心安全施策の充実についてお聞きいたします。

千葉県における高齢者は170万人のうち、一人暮らしの高齢者は30万人、一方

県における死亡者数は、人口動態調査によると、令和3年では6万5千人、死亡率は30年前の倍となっています。その中で、生前の見守りと死後の手続きを行政が事業としたり、水道はじめライフラインの利用や人感センサーなどで高齢者の動きを遠隔把握し見守りをしている自治体もあります。更に高齢者の不安な状況は多種に表面化し、身寄りのない高齢者の身元保証、葬儀、死後の財産管理、遺品処理を引き受ける民間サービス事業者とのトラブル増加、火葬待ちの深刻化、火葬の順番待ちの為の遺体安置施設の不足、更にお墓自体も足りず、生前から死に向かっての高齢者の不安が大きくなっています。そこで伺いますが、多死社会において、県は

熊谷俊人知事

一人暮らしの高齢者等が抱える孤立などの不安を総合的に認識し、市町村と協力して、高齢者の安心・安全のための施策を展開すべきだと思いますがどうでしょうか。

一人暮らしや夫婦のみの高齢世帯が増加する中、孤立や孤独死への不安を抱えている方が今後増えていくと認識しています。このため民間企業と連携して高齢者の見守りを行う「ちばSSKプロジェクト」(※2参照)などの取組を進めています。また、県内市町村による見守り支援や定期的な訪問による声掛けなどの好事例を、広く共有しながら、高齢者の安心・安全につながる取組を促進しています。

国では、独居高齢者等に対し、民間が実施している身元保証等のサービスの実態把握を行っていますので、このような動きも踏まえながら、高齢者が孤立することなく、安心して暮らし続け

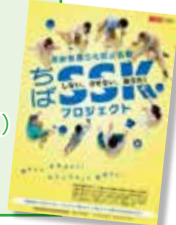
られる地域社会が実現できるように、市町村と連携を図り取り組んでまいります。

※1わたしの提言

県民の皆さまのご意見をお伺いし、県政の重要課題に対するご提案をお受けしています。千葉県のホームページをご覧ください。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kouhou/goiken/chiji.html>

※2「ちばSSKプロジェクト」

高齢者孤立化防止活動「ちばSSKプロジェクト」(しない、させない、孤立化!) 千葉県のホームページをご覧ください。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/koufuku/shien/ssk.html>



河野としのり
プロフィール

昭和48年 早稲田大学工学部卒業
50年 早稲田大学大学院修士課程修了
同年 東洋エンジニアリング株式会社入社
平成7年 千葉県議会議員初当選
16年 千葉県監査委員

17年 防災対策委員
20年 民主党県連幹事長
令和5年 千葉県議会議員8期当選
現在 立憲民主党千葉県連合会代表代行

●河野としのり事務所●

〒261-0013 千葉市美浜区打瀬1-2-2 幕張パークタワー305
TEL. 043-211-0024

